

全国でも早期に運行を開始した「コミュニティバス「あおぞら」

伊勢崎を走り続けて21年

小ぶりで鮮やかなブルーのカラーリング、車体には花のイラスト。「コミュニティバス」「あおぞら」は公共交通手段の薄い路線を走り、自家用車を持っていないかたたり運転できなくなったりした高齢者や児童、学生の生活を支えています。

時代に先駆け運行を開始 市民の足となり21年

コミュニティバスとは、公共交通手段が空白になっていない地域の不便さを解消するため、行政が主体的に計画し実施しているバスの運行サービスです。車体にツツジやサルビア、キク、スイセンの4つの市花が描かれた、青いバスを見かけた人も多いことでしょう。

伊勢崎市が「あおぞら」バスの前身となる福祉バス「ふれあいバス」の運行を始めたのは平成8年のことでした。

当時は市内を巡回するバス路線がなかったことから、試験的に伊勢崎市民病院から華蔵寺公園までの「北巡回バス」と、伊勢崎市民病院から山王地区までの「南巡回バス」の2路線をスタート。こ

れが通院や買い物に便利で公共施設へ通いやすいという声が多くあがります。当時はバスが走っていない郊外地域からも「バスを走らせて欲しい」という意見が多数寄せられ、翌年、5路線に増設されました。

平成17年に合併した際には、旧市町村が持っていたものを合わせて15路線が運行していました。平成20年に「あおぞら」と名称を変更して再編。現在はバス事業を運営する国際十王交通株式会社

が伊勢崎の各方面へ直線的に往復する5路線、中心市街地を左回りで巡回する2路線、郊外地域を環状に結ぶ3路線の計10路線を運行しています。

「いまでは全国的にコミュニティバスが活躍していますが、東京

都武蔵野市の「ムーバス」が成功

し、コミュニティバスという名称が全国に広まったのが平成7年ごろです。旧伊勢崎市の「ふれあいバス」の運行開始は、近隣では早い方だと思えます」と伊勢崎市環境部交通政策課の国定成世さん。「あおぞら」は、時代に合せて規模や路線を変えながら長く続いてきたのです。

通院や買い物、レジャーにも 利用しやすいとの声が多数

「あおぞら」の乗車口はノンステップ、車内はバリアフリー対応なので、車イスに乗ったままでも、ベビーカーを折りたたまなくても乗り降りできます。利用者は年間でのべ約35万人。その半数以上が65歳以上で、市民病院発着の利用が特に多いそうです。実際に

乗車している人を見ると、通院だけでなく入院している家族の見舞いや買い物、レジャーなどにも利用しているという言葉が返ってきました。

「あおぞら」の運転手の1人、板橋祐子さんは福祉バスのところから15年運転しているというベテラン。「朝は学生が、昼は高齢者の



板橋祐子さんは入院しているご主人の様子を毎日1〜2回、病院まで利用

方が多く乗車します」と教えてくれました。運転は何よりも安全であることに注意を払っています。「高齢の方は少しの揺れでも倒れやすく、倒れば骨折しかねませんから発進と停車は特に気をつけています。どの運転手も皆、運転中は真剣です」

「これからはバス運行事業者と連携し、地域の皆さんから親しまれる、安全・安心・快適な「あおぞら」バスとなるよう取り組んでいきたいと思えます」と国定さん。スタートが福祉バスということや、高齢者をはじめとする多くの人に気軽に利用して欲しいという思いから、現在も無料で運行されています。全国でも珍しいことですが、一方で受益者負担の原則にのっとり有料にすべきではないかという意見も出ており、利用者の負担にならない範囲で有料化へ向けた検討が課題となっているそうです。またサービスの

今日初めてバスを利用した平野美知子さんは「お金の準備がなくて、自分の時間を使えるのがいいですね」



の人の気軽に利用して欲しいという思いから、現在も無料で運行されています。全国でも珍しいことですが、一方で受益者負担の原則にのっとり有料にすべきではないかという意見も出ており、利用者の負担にならない範囲で有料化へ向けた検討が課題となっているそうです。またサービスの

伊勢崎市が全国1位！ 自家用車保有台数

群馬県の自動車保有率は全国でも高く、自動車検査登録情報協会が発表しているデータ「都市別自家用乗用車の普及状況（軽自動車を含む）平成27年3月末現在」を見ると、伊勢崎市は1世帯あたりの保有台数が全国5位、1人あたりの台数では全国1位です。2位は太田市、前橋市は5位、桐生市が7位と続いており伊勢崎市は県内でも、車への依存度が高い地域であることがうかがえます。

伊勢崎市内の免許保有者数は

山本美穂さん(左)と新井美穂さんは、駅からバスに乗って映画館へ。「雨や雪の日に使っている友達もいました」



「あおぞら」バスロケーションシステム
利用したい路線のバスが、いまだどこを走っているかがリアルタイムでわかります。
QRコードを読み取るか、下記URLへアクセス
<http://aozora.bus-go.com/>
●バスに関する問い合わせ
国際十王交通株式会社 ☎0270-24-3011

